



トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

2026年 1月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

1.実施概要

- 開催日 : 2026年 1月20日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 19時30分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 16名/16名 (参加率: 100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 その他 ()

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 12月度MTG出席率: 16/16人 欠席者: 無し 【対応方法】 ・ ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ ミーティング当日の参加状況と管理 ・ ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・ 参加状況の整理 (声かけや周知) ・ 欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・ 2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・ 車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2025年12月度記入率】提出率: 100% ・ 燃費記入: 100%、月間燃費: 100% ・ 目標燃費: 93.8%、コメント: 100%
	課題	・ 走行管理表の記入・提出率100% ・ 運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・ 全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・ 乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ ミーティング出席率 ・ ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「自転車の事故対策（自転車の法改正）」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 前回の復習（ドライブレコーダー映像による安全運転講習KYT）
- ⑤ 今回のポイント（自転車の事故対策（自転車の法改正））
- ⑥ 法定教育項目②バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと
- ⑦ 法定教育項目①バスを運転する場合の心構え

■ 今回のポイント

- ・ 自転車交通反則通知制度や改正道路交通法の変更点を理解し、自転車に乗る際も自動車免許を持つプロドライバーとしての自覚を持つことが重要
- ・ 自転車だけの改正だけでなくそれに伴う、バス運転時の事故のリスクを確認する

十分な間隔と安全な速度とは

間隔
自転車のふらつきなどを考慮して最低でも1mの間隔を開けるようにし、理想は1.5m以上の間隔を意識しましょう。

速度
自転車の速度(平均15km/h程度)にプラス5km/h~10km/h程度を目安とし、危険を回避できる速度で通過しましょう。

※法令では規定されておらず、上記はあくまで目安です。

項目2 バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと

指導及び監督指針
平成29年9月に改正道路交通法が施行され、**準中型自動車・準中型免許**が新設されました。

準中型自動車・準中型免許の新設について

平成29年9月1日以前に取得
平成29年6月2日～平成29年3月11日の間に取得
平成29年3月12日以降に取得

取得時期	普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許
平成29年9月1日以前	取得可能	取得可能	取得可能	取得可能
平成29年6月2日～平成29年3月11日	取得可能	取得可能	取得可能	取得可能
平成29年3月12日以降	取得可能	取得可能	取得可能	取得可能

①普通

②準中型免許

③2

④3

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・ 自転車を追い越す際の間隔1.5m空けないといけなくなるとニュースでやっていた。そうすると道幅が大きくない道路では殆ど自転車を追い越すのが難しくなる。自転車の取締りもしっかり強化して欲しい。
- ・ 普段自転車との間隔は1.5m以上開けて追い越す場合は追い越している。横を通った時に風圧での店頭や老人だとふらついて転ぶ場合もあると聞くので、無理しては追い越さない。
- ・ 日吉駅に向かうルートは左右自転や歩行者などが多く道路幅も狭いので、追い越せないと時間がかかりそう。
- ・ 速度を出さずに運転することを意識したら、燃費が良くなった。
- ・ バス利用者などのお客様からのお褒めの声があった場合、良いことは皆に共有と掲示期間を長くして欲しい。【法定教育項目について】
- ・ 乗合バスの単独事故はミラーの接触や軽微な自損事故でも、警察に届け出をしているから多いのだと思う。
- ・ 貸切バスの交通事故は交差点での右左折の接触が多いと思っていたが、追突事故がやはり一番多いんだね。

■ 所見

今回は、自転車交通反則通知制度や改正道路交通法の変更点を共有させていただき、自転車に乗る際も自動車免許を持つドライバーとしての自覚を持つことが重要な旨お伝えさせていただきました。また、自転車のことだけでなく改正後、バス運転時に自転車を追い越すリスクや事故の対策などもお伝えさせていただきました。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2026年 1月20日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 14時00分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「自転車の事故対策（自転車の法改正）」

- ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
- ② 走行管理表の状況
- ③ 事故推移
- ④ DR映像について
- ⑤ ヒヤリハット映像の提出 ミーティングでの活用
- ⑥ 今月の強化項目の設定

■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ ミーティング出席：16人/16人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・ 欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	【2025年11月度記入率】提出率：100% ・ 燃費記入：100%、月間燃費：100% ・ 目標燃費：93.8%、コメント：100% ⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する
③	事故推移	・ 活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数4件 車両事故6件、その他事故0件 ※昨年同月対比7件減少 ・ 12月度：事故無し、1月度：事故無し（ミーティング時点） ・ 昨年2月度の事故の共有を実施
④	DR映像について	・ ミーティング内にて、DR映像を活用する（担当：野村さん） ・ 良い運転と不安全運転 ⇒今回、間隔が違う乗用車の事故映像活用 ※ヒヤリハットを探そうとする危険感知度も向上させる
⑤	ヒヤリハット映像の提出 ミーティングでの活用	・ 毎月、各ドライバー1つ以上、ヒヤリハット情報を帰庫点呼時に報告（何時にどこでどのような内容か） ⇒報告を基に映像確認と抽出し保存しミーティングで活用
⑥	今月の強化項目の設定	・ 毎月、強化項目を設定し点呼時、定期的に確認を実施する 2月度強化項目：危険感知度を高める 具体的行動：ヒヤリハットの報告（自分・自分以外でもOK）

■ 所見

昨年同月対比で車両事故が減少してきております。現在無事故が継続しておりますが、事故防止と危険感受性の向上を目的とし今月よりヒヤリハット映像の報告をお願いしております。管理者様は帰庫点呼時にヒヤリハットが無かったか確認をお願いいたします。また、抽出いただいた映像はミーティングで共有し対策なども検討していきたいと考えております。

5.その他

■ 連絡事項

■ 配布資料

- ① キックオフミーティング議事録（本紙）
- ② ミーティングスライド
- ③ ミーティング参加者一覧
- ④ 走行管理表（2026年2月分）
- ⑤ 事故集計表
- ⑥ 法定教育項目②バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと（穴埋め・解答）
- ⑦ 法定教育項目①バスを運転する場合の心構え（穴埋め・解答）

■ 実施状況写真



■ 次回ミーティング日時

- ・乗務員ミーティング 2026年 2月17日(火)
 15時00分～
- ・管理者ミーティング 2026年 2月17日(火)
 14時00分～

～今月もお疲れさまでした。次回もよろしくお願いします～